

# 大津市会報告

2010年3月 発行：日本共産党大津市会議員団 〒520-0818 大津市西ノ庄5番16-1

☎077(525)1500 FAX.077(525)1661

# いのちと生活を支える大津市政を

長びく景気後退の中、雇用破壊や社会保障の負担増で市民生活は大変です。昨年の総選挙は、「この暮らしを何とかしたい」という切実な願いが示されましたが、国政でも市政でも暮らしを壊してきた「構造改革」の政治をあらため、いのちと暮らしを守る政治へ、本格的な転換を図る時です。日本共産党市議団は、市民本位の市政へ積極的に提案し、議論をおこないました。

## 税制のゆがみただし、生活に配慮した未収金対策を

日本共産党を代表して質問にたった塚本正弘市議は、景気悪化が市民生活をいっそう困難に追いやっていると指摘、市民のいのちと暮らしを守ることは市政の第一の



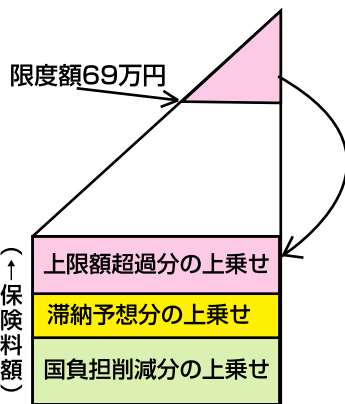
役割だとして、構造改革の政治が進めた大企業には減税、国民には増税という「ゆがみ」をただし、庶民増税をやめるよう国に求めるべきと市長の姿勢をただしました。また、税金や保険料など払いたくても払えない現状がある人については、行き過ぎた差押えなどをおこなわず、生活権を守る対応を求めました。市当局は税制は国で考えること、滞納者には相談で分割納付に応じるなど柔軟に対応すると答えました。

## これで公正・公平といえるか—— 国保料の過大な負担

国民健康保険では、国庫負担の削減に加えて、保険料賦課額に滞納分を上乗せする負担増、高額所得者の限度額超過分の軽減による負担増など過大な負担が加入者に

かけられ、払えない人は保険証を受け取れないという問題があると指摘、このような道理のないやり方を改めることにも、市独自でできる所得に応じた減免制度を作る

こと、短期保険証を郵送交付するよう求めました。「市長は「病院の窓口で払わない人もいる」などとして「公平・公正」な制度だと強弁。払いきれないほどの高い国保料の問題についてまともに答えようとしませんでした。



国保料が高いわけは

## 大企業応援でなく、住宅改修補助など 市民本位の景気対策を

大津市では地域経済活性化策として、市内で起業をする会社や大規模工場の建設などに補助金を出していますがその大半が大企業で、

00万円もの経済効果があり、その増額が求められていましたが、今年度も同額の400万円にとどまりました。

今年度までの雇用創出効果は数十名、平成22年度も1億3千万円の予算を計上しています。一方で市内業者を使って住宅改修をする市民への補助制度は、21年度7千5

多額の内部留保を持つ大企業の応援よりも、地域への波及効果が大きなりフォームなどにもっと力を入れるべきです。

## 大津市平成22年度予算 子育て支援などが前進

新年度予算では、子どもの医療費助成の拡充・保育所の増設・高齢者の家具固定事業や伊香立トンネルの無料化など切実な市民要求が実現。党市議団も議会で取り上げてきたものです。

- 校舎の耐震改修(小学校18、中学校8)
- 子ども医療費助成(2011年1月から実施、小学校1年から3年まで、通院500円、入院1000円/日)
- 東部集いの広場開設(子育て支援センター、瀬田平和堂4階)
- 民間保育所新增設(定員300名増)
- 家具転倒防止事業(65歳以上世帯)
- 肺ガン検診(40歳以上、自己負担有り、10月から)
- 途中トンネル無料化(10月から)
- 特別養護老人ホーム新增設(124床)
- シカ900頭の捕獲など鳥獣害対策

市民の願いをとどけます

日本共産党市会議員団

- 佐々木 しょういち 546-6653
- 杉浦 とも子 525-9247
- 八木 修 534-5023
- 石黒 かづ子 579-2261
- つかもと 正弘 525-3230
- 岸本 のり子 594-6091

ご意見・ご要望お寄せください。

ホームページをダウンロード

ホームページ <http://www.otsu-jcp.net/>